教授会大衆団交に結集せよ！

昨日団交を勝ち取る！

現在調査費計上問題を追求中！

E156

文学部斗争委員会
宣伝局発行

教育大のすべての学友諸君！　昨日教育学部教授会が自自のうづら荘において秘密裡に開かれようとした。この情報をキャッチした文斗争委員会を中心とした部隊は、対教教授会団交を要求して行動を直ちに起した。その結果、ともかく大学に戻りそこで学生と話し合うことが確認された。我々は常に団交を望むすべての学友がこの教授会との団交の場に結集することをよびかけた。しかし、教自治会執行部を中心とする学友は、かたくなに教育学部の学生とまずはじめにおこなわなければならないと、わけのわからぬことをいいつづけ、この団交の実現を妨害してきた。いや教育学部学生と教授との話し合いは、学生委員中心の学部長、評議員の出席しない単なる懇談会になろうとしていたのである。従って我々は出席しなかった学部長、評議員の出席を求め、我々の大衆団交の実現を図るべく行動したのである。そして、我々の圧倒的な、本館封鎖、二六日からの長期ストライキを背景にして、ついにその実現をみたのであった。そうした中にあっても橋本学部長代理は、一度は約束しておきながら、なんのかんのと理由をつけ、午前二時をすぎても口を開かないという有様であった。現在に至りやっと口を開いたわけだけれども、六、二の調査費計上についても何ら核心的なことは述べていないし、学生と評議会との大衆団交のことについては、そんな必要はない、とつっぱねているのである。我々はこうした橋本学部長を中心とする教教授会のこうした高圧的な態度というものを決して許しておくことはできない。六、二の評議会決定＝調査費計上に対する教教授会の不承認、そして対評議会団交あっせんを最後まで追求し、これを勝ち取っていこうではないか。

すべての学友諸君！

ただちにE一五六に結集し、昨夜から徹夜で斗っている多くの学友と連帯し、我等の要求をつきつけていこうではないか。そのことにより現在一定の動揺をみせている各学部教授会、とりわけ筑波に関しては一貫してあいまいな態度をとりつづけ、また文学部の学生とは関係がないという態度をとりつづけてきた教教授会に対して評議会　決定不承認を勝取ろう・我々の文学部を中心とした本館封鎖、ストライキという斗争にもかかわらず、大学当局は学生の斗争を折任するという方向にしかその解決策をみいだしていない。我々はこの誤った方向性を現実の運動をもって粉砕していこうではないか・最近の中だるみ状態というものを、昨日のセ、一〇全学学生総決起集会を三百名の学友、農、理、体を含めた学友の手によってうち破った我々は、更に、対評議会団交実現、調査費計上決定白紙撤回に向けて戦いの戦列の強化していかねばならない。現在一部学友諸君にみられる本館封鎖解除、E館事務室解除というストライキへの敵対以外の何ものでもないこうした策動を、クラスを基礎とした大衆的な運動をして粉砕していこうではないか。夏休みを斗いうる斗争主体の形成というものを、これまでの斗争の総括、教訓への全面対決の中からないしいくことが必要であろう。

すべての学友諸君！

二三日の概算要求、それに向けてのマスタープラン委員会総会に向けて斗争を組んでいこう。あらゆる活動をはねの要求貫徹まで共に斗おう。

文学部斗争委員会